

Second Written Opinion

III.

I (the Examiner) cannot provide any opinion because the description of the specification, claims or drawings (indicated below) or claim 6 is unclear (shown in detail below).

Claim 6 is dependent from Claim 5, which cites Claim 4. However, either Claim 4 or 5 discloses a spring pawl.

I (the Examiner) cannot provide any opinion because all of the Claims or Claims 4 and 5 lack sufficient support in the specification (shown in detail below).

It is not disclosed that, in Claim 4, a ratchet is equipped with a lock bar, and that, in Claim 5, the ratchet is surrounded by resin material.

V.

2. References and Description Thereof

Reference 1: Paragraphs 104 to 119 and Figures 4 to 7 of Japanese Patent Application laid-Open No. 2004-42782 (applicant: KABUSHIKI KAISHA TOKAI-RIKA-DENKI-SEISAKUSHO), filed on February 2, 2004; European Patent No. 1382498 A; and U.S. Patent No. 2004-75008 A

Reference 2: Figures 1 and 2 of Japanese Patent Application Laid-Open No. 2001-225720 A (applicant: TAKATA Corp.) filed on August 21, 2001; and U. S. Patent No. 6494395 B

Reference 3: Figure 2 of a microfilm having photographed description and drawings originally attached to the request for Japanese Application for Utility Model Registration No. 63-151483 (Publication of Application for Utility Model Registration No. 2-71055) recorded thereon (applicant: Ashimori Industry Co., Ltd.), May 30, 1990 (no family application).

The inventions according to Claims 1 to 3 lack inventive steps on the basis of

Reference 1 (paragraphs 104 to 119, Figures 4 to 7), Reference 2 (Figures 1 and 2) and Reference 3 (Figure 2), all of the References have been cited in the international search report. A person skilled in the art could have easily conceived of combining a structure of a clutch mechanism supported by a case described in References 2 and 3 with a rotating body (clutch 90) having a slider (block 146) and a lock bar (pawl 130) described in Reference 1. The torque limiter in Reference 1 functions as the spring pawl according to Claim 3.

VII.

I (the Examiner) have found the following defects on the style or contents of the present international application.

In Claim 2, there is a contradiction between the description "the clutch comprises a case and a rotating body" and the description "the clutch is rotatably supported by the case".

Claim 6 is dependent from Claim 5, which is in turn dependent from Claim 4. However, either Claim 4 or 5 discloses a spring pawl.

VIII.

Opinion regarding clarity in Claims, specification and drawings, or sufficient support of Claims by the specification will be given below.

IT is not sufficiently supported by the specification that, in Claim 4, a ratchet is equipped with a lock bar, and that, in Claim 5, the ratchet is surrounded by resin material.

Additional

(Continued from I. 4.)

It is not disclosed in the description originally attached to the request for

international application that, in Claim 4, the ratchet is equipped with a lock bar, and that, in Claim 5, the ratchet is surrounded by resin material. Thus, Claims 4 to 6 include matters that have not been disclosed in the international application as filed.

特許協力条約

発信人 日本国特許庁（国際予備審査機関）

代理人 中島 淳 様 あて名 〒160-0022 日本国東京都新宿区新宿4丁目3番17号 HK新 宿ビル7階 太陽国際特許事務所		PCT 国際予備審査機関の見解書 (法第13条) [PCT規則66]	
		発送日 (日.月.年) 21.02.2006	
出願人又は代理人 の書類記号 TK-F03057-00		応答期間 上記発送日から 2 月 4 日 以内	
国際出願番号 PCT/J P 2005/004175	国際出願日 (日.月.年) 10.03.2005	優先日 (日.月.年) 01.04.2004	
国際特許分類 (IPC) Int.Cl. B60R22/48(2006.01), B60R22/34(2006.01), B60R22/44(2006.01)			
出願人 (氏名又は名称) 株式会社東海理化電機製作所			

1. <input checked="" type="checkbox"/> 国際調査機関の作成した見解書は、国際予備審査機関の見解書と <input checked="" type="checkbox"/> みなされる。 <input type="checkbox"/> みなされない。	
2. この 2 回目の見解書は、次の内容を含む。 <ul style="list-style-type: none"> <input checked="" type="checkbox"/> 第I欄 見解の基礎 <input type="checkbox"/> 第II欄 優先権 <input checked="" type="checkbox"/> 第III欄 新規性、進歩性又は産業上の利用可能性についての見解の不作成 <input type="checkbox"/> 第IV欄 発明の単一性の欠如 <input checked="" type="checkbox"/> 第V欄 法第13条 (PCT規則66.2(a)(ii)) に規定する新規性、進歩性又は産業上の利用可能性についての見解、それを裏付けるための文献及び説明 <input type="checkbox"/> 第VI欄 ある種の引用文献 <input type="checkbox"/> 第VII欄 国際出願の不備 <input type="checkbox"/> 第VIII欄 国際出願に対する意見 	
3. 出願人は、この見解書に応答することが求められる。 いつ? 上記応答期間を参照すること。この応答期間に間に合わないときは、出願人は、法第13条 (PCT規則66.2(e)) に規定するとおり、その期間の経過前に国際予備審査機関に期間延長を請求することができる。ただし、期間延長が認められるのは合理的な理由があり、かつスケジュールに余裕がある場合に限られることに注意されたい。 どのように? 法第13条 (PCT規則66.3) の規定に従い、答弁書及び必要な場合には、補正書を提出する。補正書の様式及び言語については、法施行規則第62条 (PCT規則66.8及び66.9) を参照すること。 なお 補正書を提出する追加の機会については、法施行規則第61条の2 (PCT規則66.4) を参照すること。補正書及び/又は答弁書の審査官による考慮については、PCT規則66.4の2を参照すること。審査官との非公式の連絡については、PCT規則66.6を参照すること。 応答がないときは、国際予備審査報告は、この見解書に基づき作成される。	
4. 特許性に関する国際予備報告 (特許協力条約第2章) 作成の最終期限は、 PCT規則69.2の規定により 01.08.2006 である。	

名称及びあて先 日本国特許庁 (IPEA/J P) 郵便番号100-8915 東京都千代田区霞が関三丁目4番3号	特許庁審査官 (権限のある職員) 大谷 謙仁 電話番号 03-3581-1101 内線 3381	3Q	9433
---	--	----	------

第 I 欄 見解の基礎

1. 言語に関し、この見解書は以下のものに基づき作成した。

- ☒ 出願時の言語による国際出願
- ☐ 出願時の言語から次の目的のための言語である _____ 語に翻訳された、この国際出願の翻訳文
- ☐ 国際調査 (PCT規則 12.3(a)、23.1(b))
- ☐ 国際公開 (PCT規則 12.4(a))
- ☐ 国際予備審査 (PCT規則 55.2(a) 又は 55.3(a))

2. この見解書は下記の出願書類に基づいて作成された。(法第 6 条 (PCT14 条) の規定に基づく命令に応答するために提出された差替え用紙は、この見解書において「出願時」とする。)

☐ 出願時の国際出願書類☒ 明細書

第 1-23 _____ ページ、出願時に提出されたもの

第 _____ ページ、 _____ 付で国際予備審査機関が受理したもの

第 _____ ページ、 _____ 付で国際予備審査機関が受理したもの

☒ 請求の範囲

第 _____ 項、出願時に提出されたもの

第 2, 4-7 _____ 項、PCT19 条の規定に基づき補正されたもの

第 _____ 項、 _____ 付で国際予備審査機関が受理したもの

第 _____ 項、 _____ 付で国際予備審査機関が受理したもの

☒ 図面

第 1-15 _____ ページ/図、出願時に提出されたもの

第 _____ ページ/図、 _____ 付で国際予備審査機関が受理したもの

第 _____ ページ/図、 _____ 付で国際予備審査機関が受理したもの

☐ 配列表又は関連するテーブル

配列表に関する補充欄を参照すること。

3. ☒ 補正により、下記の書類が削除された。

☐ 明細書 第 _____ ページ

☒ 請求の範囲 第 1, 3 _____ 項

☐ 図面 第 _____ ページ/図

☐ 配列表 (具体的に記載すること) _____

☐ 配列表に関連するテーブル (具体的に記載すること) _____

4. ☒ この見解書は、補充欄に示したように、補正が出願時における開示の範囲を超えてされたものと認められるので、その補正がされなかったものとして作成した。(PCT規則 70.2(c))

☐ 明細書 第 _____ ページ

☒ 請求の範囲 第 4-6 _____ 項

☐ 図面 第 _____ ページ/図

☐ 配列表 (具体的に記載すること) _____

☐ 配列表に関連するテーブル (具体的に記載すること) _____

第Ⅲ欄 新規性、進歩性又は産業上の利用可能性についての見解の不作成

次に関して、当該請求の範囲に記載されている発明の新規性、進歩性又は産業上の利用可能性につき、次の理由により審査しない。

☐ 国際出願全体

☒ 請求の範囲 4 - 6

理由：

☐ この国際出願又は請求の範囲 _____ は、国際予備審査をすることを要しない次の事項を内容としている（具体的に記載すること）。

☒ 明細書、請求の範囲若しくは図面（次に示す部分）又は請求の範囲 6 _____ の記載が、不明確であるため、見解を示すことができない（具体的に記載すること）。

請求の範囲 6 は、請求の範囲 4 を引用する請求の範囲 5 を引用しているが、請求の範囲 4、5 にはいずれもスプリング爪との記載はない。

☒ 全部の請求の範囲又は請求の範囲 4 - 5 _____ が、明細書による十分な裏付けを欠くため、見解を示すことができない（具体的に記載すること）。

請求の範囲 4 のラチェットにロックバーが設けられる点、請求の範囲 5 のラチェットが樹脂部材で囲われている点は明細書に開示されていない。

☒ 請求の範囲 4 - 6 _____ について、国際調査報告が作成されていない。

☐ 入手可能な配列表が存在せず、有意義な見解を示すことができなかった。

出願人は所定の期間内に、

☐ 実施細則の附属書 C に定める基準を満たす紙形式の配列表を提出しなかったため、国際予備審査機関は、認められた形式及び方法で配列表を入手することができなかった。

☐ 実施細則の附属書 C に定める基準を満たす電子形式の配列表を提出しなかったため、国際予備審査機関は、認められた形式及び方法で配列表を入手することができなかった。

☐ PCT 規則 13 の 3.1(a) 又は (b) 及び 13 の 3.2 に基づく命令に応じた、要求された配列表の遅延提出手数料を支払わなかった。

☐ 入手可能な配列表に関連するテーブルが存在しないため、有意義な見解を示すことができなかった。すなわち、出願人が、所定の期間内に、実施細則の附属書 C の 2 に定める技術的な要件を満たす電子形式のテーブルを提出しなかったため、国際予備審査機関は、認められた形式及び方法でテーブルを入手することができなかった。

☐ ヌクレオチド又はアミノ酸の配列表に関連するテーブルが電子形式のみで提出された場合において、当該テーブルが、実施細則の附属書 C の 2 に定める技術的な要件を満たしていない。

☐ 詳細については補充欄を参照すること。

第V欄 新規性、進歩性又は産業上の利用可能性についての法第13条（PCT規則66.2(a)(ii)）に定める見解、それを裏付ける文献及び説明

1. 見解

新規性 (N)	請求の範囲	2, 7	有
	請求の範囲		無
進歩性 (IS)	請求の範囲		有
	請求の範囲	2, 7	無
産業上の利用可能性 (IA)	請求の範囲	2, 7	有
	請求の範囲		無

2. 文献及び説明

文献1: JP 2004-42782 A (株式会社東海理化電機製作所) 2004.02.12, 【0104】-【0119】第4-7図 & EP 1382498 A & US 2004-75008 A

文献2: JP 2001-225720 A (タカタ株式会社) 2001.08.21, 第1-2図 & US 6494395 B

文献3: 日本国実用新案登録出願63-151483号(日本国実用新案登録出願公開2-71055号)の願書に添付した明細書及び図面の内容を撮影したマイクロフィルム (芦森工業株式会社), 1990.05.30, 第2図 (ファミリーなし)

請求の範囲2, 7に係る発明は、国際調査報告にて引用された文献1 (【0104】-【0119】第4-7図) と文献2 (第1-2図)、文献3 (第2図) とにより進歩性を有しない。文献1のスライダ (ブロック146)、ロックバー (パウル130) を有する回転体 (クラッチ90) に文献2、文献3のクラッチ機構をケースに支持する点を適用することは当業者が容易になし得たものである。文献1のトルクリミッタ104は請求の範囲7に係る発明のスプリング爪の機能を奏する。

第Ⅶ欄 国際出願の不備

この国際出願の形式又は内容について、次の不備を発見した。

請求の範囲 2 において、クラッチは、ケース、回転体を備えているとする記載と、「クラッチは、・・・ケースに回転自在に支持されている」という記載との整合性がみられない。

請求の範囲 6 は、請求の範囲 4 を引用する請求の範囲 5 を引用しているが、請求の範囲 4, 5 にはいずれもスプリング爪との記載はない。

第Ⅷ欄 国際出願に対する意見

請求の範囲、明細書及び図面の明瞭性又は請求の範囲の明細書による十分な裏付についての意見を次に示す。

請求の範囲 4 のラチェットにロックバーが設けられる点、請求の範囲 5 のラチェットが樹脂部材で囲われている点は明細書によって十分に裏付けされていない。

補充欄

いずれかの欄の大きさが足りない場合

第 1, 4 欄の続き

請求の範囲 4 のラチェットにロックバーが設けられる点、請求の範囲 5 のラチェットが樹脂部材で囲われている点は出願時における国際出願明細書に記載されていない。よって請求の範囲 4 - 6 の技術事項は出願時における国際出願の開示の範囲を超えている。